

平成27年度 放射線管理講習会を開催して

神奈川県放射線管理士部会 後藤慎一

平成27年10月25日聖マリアンナ医科大学病院 本館3階 大講堂において神奈川県放射線管理士部会主催で「平成27年度 放射線管理講習会」を開催しました。

医療法等、現場で実際に関係する各種法令を踏まえ、より現状に則した放射線管理の実践に役立つ内容となるよう準備をいたしました。

講習会を開催する際は低廉な受講費の設定が必要ですが、講師の先生方への謝礼や交通費、テキストの印刷費用や昼食代を考えると費用を抑えることは実に困難であります。今回は初の試みとして、これまで印刷会社に依頼していたテキストの内製化と、前回「平成27年度放射線(診療)業務従事者の教育訓練」から開始されたランチョンセミナーにより、経費節減と昼食提供による受講者の負担低減を行い、一定の成果を得たと考えています。

講演の内容としては、はじめに昭和大学大学院保健医療学研究科加藤京一先生による「画像診断における放射線管理 ～読影補助の現状と展望～」として、読影の補助として画像情報の提供、アーチファクトの指摘・医師との協調・コメントの重要性について講演頂きました。

続いて狛江はく整形外科 佐伯寿夫先生により、「小規模(クリニック)施設における放射線管理の現状と問題点(医療機器管理・放射線管理事例の検討)として、法令に基づく小規模施設での放射線管理のあり方についてご講演頂きました。

ランチョンセミナーでは東芝メディカルシステムズ株式会社 営業推進部 金原明史様より「CT装置における被ばく低減への取り組み」のご講演と昼食の提供を頂きました。お礼申し上げます。

休憩を挟み続いて「業務上の事故や要望に対する管理室対応について」を帝京大学医学部附属病院 内山喜代志 先生より実例を示しながら放射線管理室業務についてご講演頂きました。途中講師の先生の好きなものの紹介もあり、楽しい雰囲気です。

さらに続いては「一時的な管理区域に対する医療スタッフの被ばく管理」 東京慈恵会医科大学附属 柏病院 庄司友和先生より講演いただき、管理は継続できる事の重要性に気付かされました。

「千葉ろうさい病院でのMRIと医療情報システムの運用 ～医療安全に絡めて～」 千葉ろうさい病院 多田浩章 先生よりMRIと信頼性が要求される情報システムの立ち上げについて医療安全に絡めてご講演頂きました。

最後に「線量の最適化と第三者認定による放射線管理の安全性」 聖マリアンナ医科大学病院 佐藤寛之 先生より 最近ホットな話題の日本版DRLとその功罪、それを解決する第三者認定による放射線管理について、ご講演頂きました。

講師の方々には充実した内容の講義を行っていただき、50名の参加者の皆様の熱心な受講姿勢と、ご協力により、無事にそして成功裏に開催できました。心より御礼申し上げます。



初の試みのテキスト内製化



受講風景



会場の聖マリアンナ医科大学
会場のご提供に感謝します